



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 サンエー化研
コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長
四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

上場取引所 東

(氏名) 山本 明広
(氏名) 近江 剛

TEL 03-3241-5702

配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,075	11.9	183	0.4	230	18.0	161	34.8
2020年3月期第1四半期	8,033	0.2	182	10.6	194	13.6	119	14.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 166百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 139百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	14.68	
2020年3月期第1四半期	10.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	31,463	17,408	54.9	1,572.87
2020年3月期	31,627	17,341	54.4	1,566.93

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 17,261百万円 2020年3月期 17,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		9.00		9.00	18.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		9.00		9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、現時点で適切かつ合理的な業績予想の算定が困難なため開示を控えております。なお、当該理由等につきましては、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」に記載しておりますのでご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	11,320,000 株	2020年3月期	11,320,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	345,345 株	2020年3月期	345,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	10,974,655 株	2020年3月期1Q	10,974,655 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって多くの国で都市封鎖や移動制限が実施されるに至り、相当な混乱に陥りました。一定期間経過後、それらの措置は解除または緩和されましたが、その後も感染拡大の勢いは収まらず、同時に進行しつつある米中の対立激化もあって、今後の経済情勢は予測し得ない状況にあります。

わが国においても、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて緊急事態宣言が発出され、約1ヵ月半にわたる経済活動の停滞によって景気の悪化が進行しました。

そのような状況下、当社グループにおきましては、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」やハンドソープの詰替え用パウチ等、一部商品で受注の増加が見られましたが、世界的な生産活動の停滞によって、特に機能性材料製品の受注が落ち込み、売上高は前年同期比で減少しました。一方、損益面においては、収益性の高い製品の構成比増加と販売活動の自粛に伴う経費の支出抑制によって、売上減少による収益低下を補い、営業利益は前期並みの水準を維持しました。また、営業外損益において為替差損、持分法による投資損失が減少した結果、経常利益は増益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高70億75百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益1億83百万円（前年同期比0.4%増）、経常利益2億30百万円（前年同期比18.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億61百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	3,033百万円	42.9%	6.7%減
産業資材	1,665百万円	23.5%	6.2%減
機能性材料	2,200百万円	31.1%	23.5%減
その他	175百万円	2.5%	33.8%増
合計	7,075百万円	100.0%	11.9%減

(軽包装材料)

食品用包材の分野では、外食に代わって内食の機会が増加したことにより、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の受注が増加しましたが、その反面、清涼飲料用パウチは外出自粛の影響で受注が減少し、その他の食品用包材も低調であったため、減収となりました。

医薬品・医療用包材の分野では、高防湿PTP包装用フィルム「テクニフィルム」の受注が減少した他、一部の医療用包材についても顧客の仕様変更を受け、減収となりました。

洗剤・トイレタリー用包材の分野では、外出自粛の影響で化粧品関連の受注が減少しましたが、ハンドソープや液体洗剤等の詰替え用パウチが伸長し、増収となりました。

精密機器その他の包材の分野では、新型コロナウイルスの感染拡大による物流の停滞や娯楽施設等の閉鎖の影響により、エア緩衝材全般で受注が減少し、その他の包材も低調であったため、減収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は30億33百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

(産業資材)

テープ基材等に使用される紙・布へのラミネート製品については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による物流の停滞で梱包用テープの需要は減少したものの、自然災害の発生に備え、顧客であるテープメーカーの養生用テープ増産によって受注が増加し、増収となりました。

剥離紙については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、自動車部品関連やPOPラベル関連の受注が減少した他、FPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙も受注が低調で、減収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16億65百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

（機能性材料）

粘着塗工タイプの表面保護フィルム「サニテクト」については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により一般的に受注が減少する中、テレワーク導入企業の増加によりパソコン向けが好調で、前期並みの売上を維持しました。2層押出しタイプの表面保護フィルム「PAC」及び精密塗工タイプの表面保護フィルム「SAT」については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、偏光板用やスマートフォン関連の受注が減少し減収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は22億円（前年同期比23.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

総資産は前連結会計年度末と比べて1億64百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1億22百万円減少したことや、受取手形及び売掛金が1億79百万円減少したこと等の減少要因や、電子記録債権が2億24百万円増加したこと等の増加要因によるものです。

（負債）

負債は前連結会計年度末と比べて2億31百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が4億17百万円減少したことや、長期借入金が1億46百万円減少したこと等の減少要因や、電子記録債務が3億18百万円増加したこと等の増加要因によるものです。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて66百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が62百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって経済活動の停滞が生じており、正常化に至る道のが未だ見えない状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境についても、今後の動向が予測不能の状況にあり、現時点で合理的な業績予想を算定することは極めて困難であります。

従いまして、当社グループの当連結会計年度（2021年3月期）の業績予想は未定とし、合理的に算定可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,341,793	6,219,597
受取手形及び売掛金	8,553,197	8,373,596
電子記録債権	1,788,387	2,012,519
商品及び製品	1,284,239	1,296,374
仕掛品	1,418,106	1,341,304
原材料及び貯蔵品	572,120	631,235
その他	141,821	146,688
貸倒引当金	△24,261	△24,513
流動資産合計	20,075,404	19,996,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,159,059	3,144,856
機械装置及び運搬具(純額)	1,178,647	1,107,262
土地	1,947,520	1,947,520
その他(純額)	234,959	225,229
有形固定資産合計	6,520,187	6,424,869
無形固定資産		
	27,788	24,019
投資その他の資産		
投資有価証券	4,197,610	4,187,869
退職給付に係る資産	716,430	738,860
その他	282,137	256,581
貸倒引当金	△191,852	△165,995
投資その他の資産合計	5,004,325	5,017,315
固定資産合計	11,552,301	11,466,204
資産合計	31,627,706	31,463,008

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,144,836	2,726,968
電子記録債務	3,003,894	3,322,874
短期借入金	4,120,000	4,160,000
未払法人税等	41,730	13,375
賞与引当金	428,100	216,969
その他	1,564,897	1,698,515
流動負債合計	12,303,458	12,138,703
固定負債		
長期借入金	355,625	209,375
役員退職慰労引当金	119,402	123,667
債務保証損失引当金	250,498	252,151
退職給付に係る負債	554,851	560,450
資産除去債務	105,450	105,613
その他	596,991	664,897
固定負債合計	1,982,818	1,916,154
負債合計	14,286,277	14,054,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,136,756	2,136,756
利益剰余金	11,787,228	11,849,674
自己株式	△116,042	△116,042
株主資本合計	15,983,943	16,046,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,426,215	1,416,939
為替換算調整勘定	△45,067	△47,851
退職給付に係る調整累計額	△168,476	△153,686
その他の包括利益累計額合計	1,212,670	1,215,401
非支配株主持分	144,814	146,358
純資産合計	17,341,428	17,408,149
負債純資産合計	31,627,706	31,463,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,033,523	7,075,299
売上原価	7,066,606	6,178,746
売上総利益	966,917	896,553
販売費及び一般管理費	784,034	712,909
営業利益	182,882	183,643
営業外収益		
受取利息	3,128	2,421
受取配当金	50,894	51,101
作業くず売却益	13,597	4,006
受取補償金	7,522	—
その他	8,425	7,409
営業外収益合計	83,568	64,938
営業外費用		
支払利息	5,880	6,912
持分法による投資損失	33,576	—
為替差損	29,736	8,630
その他	2,259	2,995
営業外費用合計	71,453	18,537
経常利益	194,997	230,044
税金等調整前四半期純利益	194,997	230,044
法人税、住民税及び事業税	3,661	6,129
法人税等調整額	69,420	60,048
法人税等合計	73,081	66,178
四半期純利益	121,915	163,866
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,330	2,648
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,584	161,217

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	121,915	163,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△274,162	△9,180
為替換算調整勘定	2,499	△2,783
退職給付に係る調整額	1,014	14,790
持分法適用会社に対する持分相当額	9,676	—
その他の包括利益合計	△260,971	2,826
四半期包括利益	△139,056	166,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△141,303	163,948
非支配株主に係る四半期包括利益	2,247	2,744

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	3,250,260	1,775,539	2,876,769	7,902,569	130,954	8,033,523
セグメント利益又は損失 (△)	126,402	△131,080	192,574	187,896	△5,014	182,882

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	3,033,893	1,665,969	2,200,273	6,900,136	175,162	7,075,299
セグメント利益又は損失 (△)	134,532	△121,575	158,603	171,560	12,084	183,643

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。